

NextPort SPE バージョンの理解

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[NextPort のハードウェア コンポーネント](#)

[i960 バージョン番号](#)

[i960 コードのアップグレード](#)

[CSMV/6 バージョン番号](#)

[CSMV/6 \(SPE\) コードのアップグレード](#)

[関連情報](#)

概要

NextPort ベースのプラットフォームを使用する際、ルータ上で動作する NextPort コードのバージョンを確認しなければならないことがよくあります。しかし、コードのフォーマット方法および命名方法により、確認することが難しい場合もあります。このドキュメントでは、NextPort プラットフォームのコードのバージョンを判別するのに役立つガイドラインを示します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアのバージョンに基づくものです。

- NextPort ダイアル フィーチャ カード (DFC)
- AS5350、AS5400、AS5800、AS5850 などの NextPort 対応プラットフォーム

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

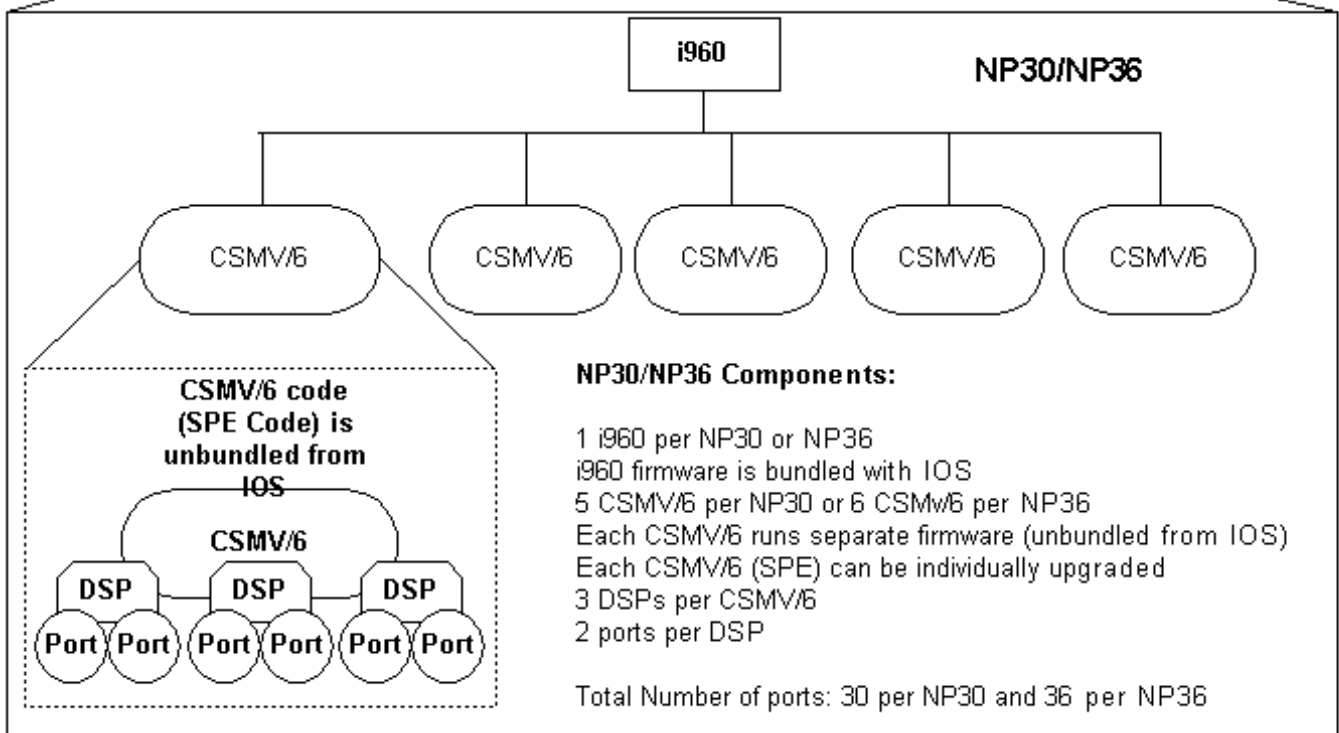
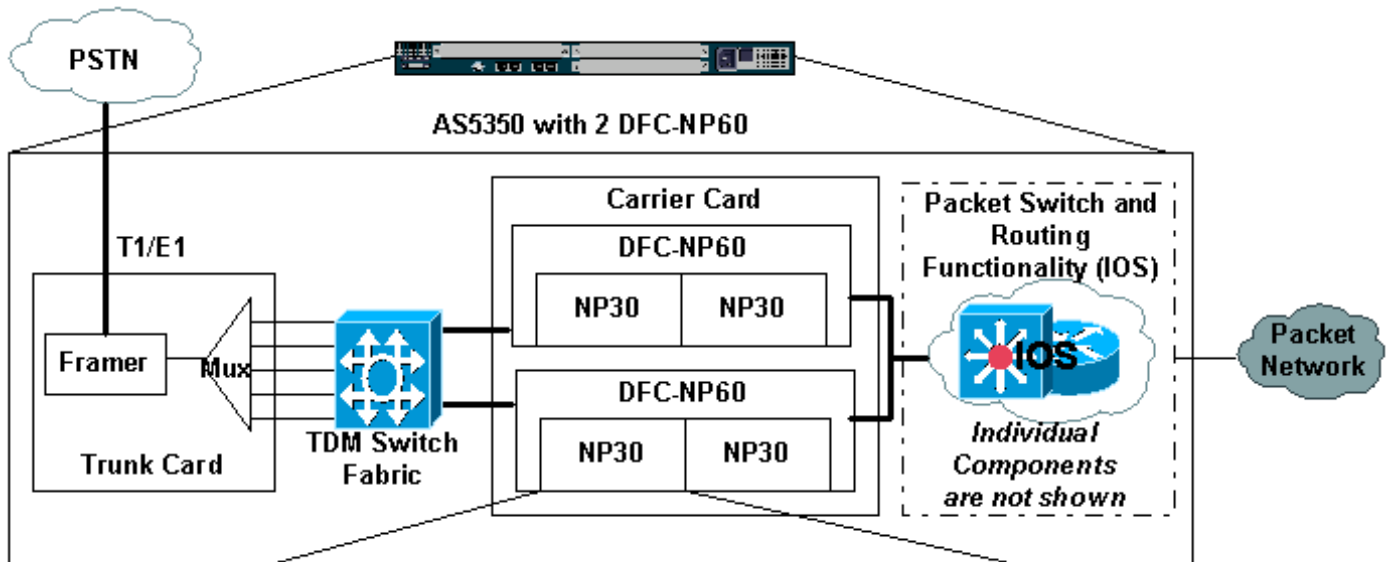
NextPort のハードウェア コンポーネント

NextPort モデム サブシステムは、NP30 や NP36 などの番号で実装されます。たとえば、DFC-NP108 には 3 つの NP36 があります ($3 \times 36 = 108$)。一方、DFC-NP60 には 2 つの NP30 があります ($2 \times 30 = 60$)。324 UPC には 9 つの NP36 が組み込まれています。

これらのモデム サブシステム (NP30 または NP36) には、それぞれ 5 つか 6 つの CSMV/6 コアと 1 つの i960 プロセッサが搭載されています。i960 は Cisco IOS® と CSMV/6 間の通信パスを処理します。

各 CSMV/6 (6 ポートのセントラル サイト モデム (csm) デバイス) には、1 つの ARM 制御プロセッサ (AT インターフェイスと EC/DC レイヤを処理します) および 3 つの DSP (それぞれが 2 つのポートのモデム変調または音声の符号化を処理します) が含まれています。

たとえば、60 ポート DFC-NP60 カードには 2 つの NP30s があり、それぞれに 5 つの CSMV/6 (それぞれは 6 つのポートを処理します) が含まれています。各 NP30 には、i960 コードの 1 つのインスタンスとその内部で実行する CSMV/6 コードの 5 つのインスタンスが存在します。



i960 バージョン番号

i960 コード (「NextPort イメージ」とも呼ばれます) には、シスコでは「np.ios」と呼ぶ形式のファイルが含まれています。このコードはバンドルせずに使用することはできませんが、Cisco IOS イメージにしかバンドルできません。

np.ios には i960 コードと CSMV/6 コードが含まれています。np.ios バージョンは「2.3.5.108」のように表示されます。np.ios バージョン番号 w.x.y.z には、以下のメンバーが含まれています。

	フェーズ (メジャー機能のバージョン)	ブランチ (マイナー機能のバージョン)	i960 バージョン (w.x が 2.2 未満の場合、重要ではありません)	CSMV/6 マイナーバージョン番号
--	------------------------	------------------------	--	-----------------------

	w	X	y	z
例	2	3	5	108

shownextport mm を使用して np.ios バージョンを確認できます。例：

```
esc-5400#show nextport mm IOS bundled NextPort image version: 2.3.5.108 !--- The i960 code
version is 2.3.5.108. NP Module(0 ): state = MODULE NOT INSERTED NP Module(1 ): state = MODULE
NOT INSERTED NP Module(2 ): state = MODULE NOT INSERTED NP Module(3 ): slot=1, dfc=0, module=0
state = MODULE RUNNING crash=0, bad=0, restarts=0, num SPEs=6 SecondaryQ hits=0, current held=0
NP Module(4 ): slot=1, dfc=0, module=1 state = MODULE RUNNING crash=0, bad=0, restarts=0, num
SPEs=6 SecondaryQ hits=0, current held=0 NP Module(5 ): slot=1, dfc=0, module=2 state = MODULE
RUNNING crash=0, bad=0, restarts=0, num SPEs=6 SecondaryQ hits=0, current held=0 ... .. !---
Output omitted. ... NP Module(21): state = MODULE NOT INSERTED NP Module(22): state = MODULE NOT
INSERTED NP Module(23): state = MODULE NOT INSERTED
```

[i960 コードのアップグレード](#)

i960 コードをアップグレードする必要がある場合 (バグが原因など)、プラットフォームの Cisco IOS をアップグレードする必要があります。ルータのリロードを行わずに i960 コードをリロードすることは、サポートされていません。

[CSMV/6 バージョン番号](#)

CSMV/6 コード (「SPE コード」とも呼ばれます) は、np.ios ファイルにバンドルして使用することができます (したがって、Cisco IOS イメージにもバンドルされます)。しかし、i960 コード/np.ios とは異なり、このコードはバンドルせずに使用することもできます。また、SPE (CSMV/6) ごとに別個にロードすることができます。CSMV/6 バージョン番号は「7.11」または「6.103.11」のように表示されます。CSMV/6 バージョン番号 a.b [c] の「b」メンバーは、i960 np.ios w.x.y.z の「z」メンバーにマップされます。たとえば、np.ios 2.3.5.108 には、SPE バージョン 6.108 が含まれます。

show spe version を使用して SPE バージョンを確認できます。実際の CSMV/6 バージョン番号 a.b[c] は、show spe version の出力 (0.a.b.c) にマップされます。

次の表は、CSMV/6 バージョンと show spe version の出力との間のマッピングの例を示しています。

CSMV/6 バージョン	show spe version の出力
7.15	0.7.15.0
6.103.11	0.6.103.11
6.108	0.6.108.0

次の show spe version の出力には、SPE バージョン 6.108 と 7.15 の AS5400 が示されています。

```
esc-5400#show spe version IOS-Bundled Default Firmware-Filename Version Firmware-Type
===== system:/ucode/np_spe_firmware1
0.6.108.0 SPE firmware !--- The SPE version bundled with IOS is 6.108. !--- Remember that this
matches with the i960 value 2.3.5.108. On-Flash Firmware-Filename Version Firmware-Type
===== bootflash:np.7.15.spe 0.7.15.0
SPE firmware !--- Another spe file (version 7.15) has been loaded in bootflash: SPE-# Type Port-
Range Version UPG Firmware-Filename 1/00 CSMV6 0000-0005 0.7.15.0 N/A bootflash:np.7.15.spe !---
SPE 1/00 uses the SPE code in bootflash (Version 7.15). !--- Use the firmware location command
```

to accomplish this. 1/01 CSMV6 0006-0011 0.6.108.0 N/A ios-bundled default !--- All the other SPEs use the SPE code (6.108) bundled with IOS. 1/02 CSMV6 0012-0017 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/03 CSMV6 0018-0023 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/04 CSMV6 0024-0029 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/05 CSMV6 0030-0035 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/06 CSMV6 0036-0041 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/07 CSMV6 0042-0047 0.6.108.0 N/A ios-bundled default !--- Output omitted. ... 6/15 CSMV6 0090-0095 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 6/16 CSMV6 0096-0101 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 6/17 CSMV6 0102-0107 0.6.108.0 N/A ios-bundled default

CSMV/6 (SPE) コードのアップグレード

CSMV/6 コード (SPE コード) は、IOS バンドル SPE バージョンとは関係なしに、SPE ごとに自由にロードできます。つまり、SPE コードは、ルータのリロードを行わずにアップグレードすることができます。アップグレード手順については、「[Cisco デジタル モデム内蔵ルータにおけるファームウェア/ポートウェアのアップグレード](#)」を参照してください。

関連情報

- [Cisco デジタル モデム内蔵ルータにおけるファームウェア/ポートウェアのアップグレード](#)
- [Cisco アクセス サーバの内蔵デジタルおよびアナログ モデムに推奨されるモデム キャップ](#)
- [ユニバーサル ポート カードの管理とトラブルシューティング](#)
- [NextPort ファームウェア](#)
- [Cisco テクノロジに関するサポート ページ - ダイアル](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)